

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：関東地方整備局都市整備課
 担当課長名：東 智徳

事業名 <small>かんじょうだいごうせん(しおどめ)</small> 環状第2号線(汐留)		事業区分 街路	事業主体 東京都
起終点 自：港区東新橋一丁目 <small>みなとくひがししんばしちようめ</small> 至：港区虎ノ門二丁目 <small>みなとくらのもんにちようめ</small>		延長 1.5 km	
事業概要 本事業は、江東区有明二丁目を起点として、千代田区佐久間町に至る全長14 kmのうち、港区東新橋一丁目から同区虎ノ門二丁目までの延長1.5 kmについて、新設の地下トンネル道路を整備するものである。			
事業の目的、必要性 本区間は、都心部と臨海部を結び、都市の骨格を形成する重要な環状方向の幹線道路である環状第2号線の一部である。また、道路と建物の共存を図り、市街地再開発事業や土地区画整理事業など、沿線のまちづくりと一体的に整備する必要がある。			
全体事業費 420億円		計画交通量 32,500台/日	
費用便益分析結果 B/C 2.0	総費用 380億円 (事業費：369億円 維持管理費：11億円)	総便益 760億円 (走行時間短縮便益：711億円 走行費用減少便益：28億円 交通事故減少便益：22億円)	基準年 平成15年度
事業の効果等 ・都市の再生（都市再生の緊急整備地域に位置づけられており、立体道路制度を活用した再開発事業や土地区画整理事業など、沿線まちづくりと環状第2号線とを一体的に整備する。） ・活力ある国土・地域（臨海部と都心部とのアクセス向上が図られる） ・円滑なモビリティの確保（環状方向の幹線道路整備による交通渋滞の解消）			
関係する地方公共団体等の意見 本路線は、都心部と臨海部とを結ぶ骨格幹線道路であり、沿線まちづくりと道路との一体的整備により、魅力あるまちづくりの実現が望まれている。			
事業概要図 			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものである。